

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和06年度(2024年度)	授業科目	線形代数B (0098)
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	2E06	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	産業システム工学科電気情報工学コース	対象学年	2		
開設期	夏学期(2nd-Q)	週時間数	2nd-Q:4		
教科書/教材	高専テキストシリーズ 線形代数 森北出版、同問題集				
担当教員	新藤 圭介, 福地 進				
<b>到達目標</b>					
内積の入ったベクトル空間の演算について理解すること。 直線・平面・球の方程式を求められること。 実数を成分とする行列について、その演算を理解できること。 逆行列を理解し、連立一次方程式が解けること。 行列式の定義と性質の意味を理解すること。					
<b>ルーブリック</b>					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
行列の定義とその演算		行列について理解をしており、その演算が出来る。	行列について理解をしている。	行列について理解をしていない。	
逆行列の定義とその演算		逆行列を理解し、連立一次方程式が解ける。	逆行列を理解している。	逆行列を理解していない。	
行列式の定義とその演算		行列式の図形的な意味を理解している。	行列式を求める事ができる。	行列式を求める事ができない。	
行列式と图形の面積、体積		行列式を用いて图形の面積、体積を求めることが出来る	行列式と图形の面積、体積の関係を理解している	行列式と图形の面積、体積の関係を理解していない	
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
ディプロマポリシー DP2◎					
<b>教育方法等</b>					
概要	線形代数は微分積分学と並び、数学を学んでいくための基礎科目である。本講義では、線形代数Aに続き、内積の入ったR2とR3におけるベクトルの演算、実数を成分とする行列及び行列式について、基本的なことを理解することを目指す。 【開講時期】夏学期開講週4時間				
授業の進め方・方法	教科書の内容にそって基本事項を解説し、授業中に多くの練習問題を解いていく。教科書を中心に講義をするが、問題集も適時使う。理解度を確認するため、授業時間に小テストを行う。適宜、課題の提出も課す。 到達度試験70%、小テスト・演習など30%として評価を行い、総合評価は100点満点として、60点以上を合格とする。 答案は採点後返却し、達成度を伝達する。				
注意点	自分で考え、計算することが最も大事なことである。授業中の演習の際には、他人の答を写さず、自分で解くことが最も重要である。疑問点などがあった場合は、オフィスアワーを活用して担当教員などに質問に行くこと。小テストと定期試験の答案は採点して返却するので、各自で到達度を確認すること。また、補充試験は、微分積分学IB、線形代数Bのうち、どちらか1科目まで受験できる。補充試験による評価は60点までとする。				
<b>授業の属性・履修上の区分</b>					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業		
<b>授業計画</b>					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期 2ndQ	9週	行列の和・差、実数倍	行列の和・差、実数倍について理解する		
	10週	行列の積、逆行列	行列の積、逆行列を求めることが出来る		
	11週	連立2元1次方程式	行列を用いて連立2元1次方程式を求めることが出来る		
	12週	行列式および行列式の性質	行列式および行列式の性質について理解する		
	13週	行列式の（余因子）展開	余因子展開を用いた行列式の展開を理解する。様々な行列の行列式が求められる。		
	14週	行列式の応用	平行四辺形の面積、ベクトルの外積を求めることが出来る 平行六面体の体積を行列式を用いて求めることが出来る		
	15週	演習	これまで学習した内容に関連する問題を解くことができる 応用問題を解くことができる		
	16週	到達度試験	学習した内容を理解し、与えられた問題を正確に解くことができる		
<b>モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標</b>					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	数学	数学	平面および空間ベクトルの内積を求めることができる。	3	
			問題を解くために、ベクトルの平行・垂直条件を利用することができる。	3	
			空間内の直線・平面・球の方程式を求めることができる(必要に応じてベクトル方程式も扱う)。	3	
			行列の定義を理解し、行列の和・差・スカラーとの積、行列の積を求めることができる。	3	
			逆行列の定義を理解し、2次の正方行列の逆行列を求めることができる。	3	
			行列式の定義および性質を理解し、基本的な行列式の値を求めることができる。	3	
<b>評価割合</b>					

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0